

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003年6月24日

2003年6月22日現在：

6月22日に終わる週の前半は高気温が続き、後半になり気温は急激に下がった。小麦主産地区である北中央地区（NC）では殆ど降水が記録されなかった。同地区の最高気温は90度後半であった。ウイラメット盆地には散発的な降雨が記録された。1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日（前週6.8日）であった。小麦生産地帯の土壌水分は前週に引き続き低下した。

6月22日現在、冬小麦の97%が出穂した（昨年：100%、平年：94%）。高温の為生殖成長が早り、冬小麦の作柄は前週より更に悪化した。北中央地区のMorrow郡、Sherman郡、Union郡の冬小麦は、継続した乾燥気象の為単位収量を下げるものと予想された。

春小麦は71%の圃場に出穂した。降雨を必要とする時期にある。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	11	41	47	1
Subsoil (%)	19	28	52	1

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr Average
Spring wheat Headed (%)	71	61	-	-
Winter wheat Headed (%)	97	88	100	94

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	6	23	46	23	2

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

6月1日付け農務省発表の冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				May 1	June 1		
Oregon	710	940	41.0	53.0	53.0	29,110	49,820

当該作柄レポートに関するご質問・ご意見は下記宛てにお願い申し上げます。

小川正晃：E-Mail ogawa.max@omicnet.com

以上